発行所
光町役場
匝瑳郡光町宮川5,454の5
電話横芝242・243

ひかり

年頭の辞

建設の慶び

町長　深田三郎

あけましておめでとうございます。昭和三十六年の新春は文字どおりおめでたい心地で迎えることができました。

と申しますのが、懸案の中学校統合校舎建設がその緒につき、着々と進行しつつあるからです。

政治家にとっては、公約の実施こそは生命であります。小さいとはいえ光町の政治をお預りする身にとっても公約の実現は身に課された役目でございます。

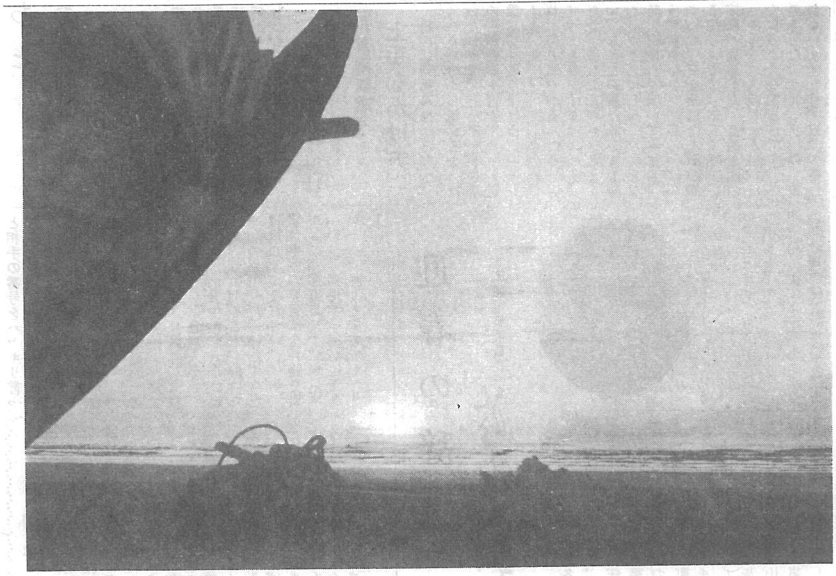
二年半前、教育の刷新と産業土木の振興を方針の大綱にお約束し、町政をお預りして以来粉骨邁進しました。特に教育刷新の大眼目である中学校統合の実現については諸種の経緯はありながらも、各位の御理解と御協力により去る十一月十七日起工式、即日工事着工というところまで漕ぎつける段取りとなりました。

人づくりこそ、町づくりの、国づくりの大本であります。近隣におとらぬ教育施設の完成は、ただに私一人のみならず、光町合併当初からの計画であり、いうならば町全員の念願である筈です。

つぎに、通学・産業開発両面に必要な道路の新設、拡充、整備等も町財政の好機をみて、最も早い機会に実現にうつす計画であります。これらについては、重ねて関係各位の御協力を願わなければなりません。

なお、一言つけ加えますことは、ほかにも町政として実施したいことは多々ある訳ではありますが、いづれにしても光町にとっては空前絶後の大事業である教育の殿堂完成までは他の事業の一部は最低の線に忍んで頂かなければならぬことの現実であります。それも、これも、町づくりの基礎である教育施設の完成ということで御理解願えるものと確信いたします。

以上所信を申し述べて昭和三十六年年頭の御挨拶といたします。



入選作品　＜つくもの朝＞　向後健一郎写

新教育委員に

実川　茂 (53) 氏

木戸一六七五（農）

＜略　歴＞

広島高等師範学校卒業

印旛郡成田小学校訓導、千葉師範学校教授

千葉県教育委員会主事

退官後、八日市場市教育長、

昭和三十二年辞任、農業従事

辻区長、光町農業委員を経て

昭和三十五年十二月光町教育委員に任命。

新しい村作りの息吹き

東陽白浜地区の土地改良

新しい村作りと云ふ事は農業に関係する団体農家と到る所で聞かれるが、農業振興には経営の改善も、新しい作物の導入も勿論必要な事であるが、農業の基本をなすものは土地であり村作りの第一は土地改良をあげなければなるまい。

光町の耕地は

水田　一、二三五町
畑　七三六町
計　一、九七一町

であるが、現在土地改良のなされたものは、日吉、南条両地区の水田六七九町であり下部地帯の

東陽　水田　三三八町
白浜　水田　二一八町

は一部の除外地を除いては全面的に大利根土地改良区に加入しては居るが、少数の水路のみで区劃整理は全然なされて居ない現状である。

この地帯の土地改良事業の促進については地区農家の久しく渇望して居た処であるが今回漸く機運が熟して、昨年秋十月十八日に、東陽白浜区劃整理準備委員会が結成され下部地帯の土地改良促進に力強い第一歩を踏み出した。

会発足と同時に先づ基本調査に乗り出し、部落毎に座談会を行い関係農家に趣旨諒解に努め、大利根土地改良区指導の計に整然たる区劃整理のされた良耕地により増産に躍進する農家を見るも一両年の内である。

この事業の促進によって目下の町の重大懸案である中学校通学道路の問題も併行して解決し得られる事であらう。

三十六年の新春を迎えるに当り

光町議会議長　伊藤幸太郎

明けましておめでとうございます。希望に輝く新春を迎え町民各位に謹んで御挨拶申上げます。顧りみますと当町が新らしく発足してから8年目に当り今や新町としての確固たる基盤がつくられ益々発展の一途をたどっておりますことは誠に御同慶の至りでございます。特に本年は昨年みなさまの御理解ある御協力によりまして懸案の中学校統合が決まり、つち音高く建設が始まりました。やがて鉄筋三階建の堂々たる教育の殿堂が完成し充実した教育が期せられるものと確信いたします。又新町新農計画による幾多の重要施策が本年も慎重審議を要請されるものと思いますが我々議会人は町民各位の要望にこたえ良識に基いて判断して住民福祉向上のために努力いたす所存でございます。幸いみなさまの暖い御支援と御鞭撻を頂けますればこれら幾多の事業がスクスクと芽ぶき、輝く陽光を浴びるとき光町の前途は洋々たるものと存じます。

実に今年こそは輝しい年となることを祈念して年頭の御挨拶といたします。

不老長寿の秘決

国保東陽病院副院長　鈴木和夫

編集長から〝長寿の秘決〟に就き知れることを述べよと厳粛なる御命令である。飛騨山中の仙人に聞いたとて「俺は知らん」と答えるだろう。ましてそこらの駆け出しが何で斯様な大それた難題に応え得ようか。あきれたものではある。ともあれ紙面を埋めねば公務員として不忠な輩と云う謗りを免れ得まい。気がつき、考えたことを書き責を果し度く思うのである。平均寿命が男性62才女性68才と延びた昨今死亡原因の首位を占めるのは高血圧に依る脳卒中、癌であって光町に於ても同様の傾向が見られる。癌相談に来る患者さんの中で手遅れとなった胃癌の方を時々見かけるが、せめて三ケ月前に来て下さればと悔まれてならぬ。40才を越したら兎も角も健康相談を行う様にしたら如何であろうか。まして相当前から胃症状があり乍ら売薬を服んで其の場凌ぎをする。富山の薬と心中するのは馬鹿らしいぢゃありませんか。住民検診で歩き廻り気が附いたこととして心電図異常な高血圧者が可成り多く見られたこと。之は日本に於ける農村高血圧の特長である。その理由を書く紙面が無いが早期に医師の診療を受け適当に降圧剤を使用すれば可成り防ぎ得ると思うのだが如何。高血圧で注射をしたり薬を服んだりしている人でも、日常の食物の塩分に注意を向けて居る人は案外少ない。左様ここまで考えを進めて来ると食生活の改善こそ長寿の秘決と云えそうである。日本人が毛唐に比べて胃癌、脳卒中の多い点、反射的に頭に浮び上って来るのは米食との関係であり胃癌の多い地域として越後平野、庄内平野等、所謂米どころなのである。亦之等の地域で特に摂取量の少ない栄養素として、動物性蛋白質、ビタミンB^1、カルシュウム等であり、之等の間に何らかの因果関係があると考えられている。その点乳製品は之等不足する栄養素を総て備えて居り米の多食を防ぎ、ひいては高血圧、癌の予防となるのである。社会党のスローガンでは無いが日本人が一日3合の牛乳を飲む様になったら胃潰瘍、胃癌等の消化器病、高血圧病の病像は可成り変って来るに違いない。しかし牛乳3合は買えば45円、月にして一、三五〇円である。一年貯めれば関西旅行に行け、お召しの着物が着られる。しからば山羊乳は如何。動脈硬化症等に効くオロトン酸を牛乳の倍近く含んで居り亦光町の地理的条件から云って甚だ得易いものと考えるのだが町の各地に山羊の啼声が聞かれ長寿者が増し、平和で健康な町の光景がのぞめたらと考えるのは馬鹿者の見る初夢であろうか。

ひかり広報入選

市町村広報紙コンクールは例年県主催で行はれて来たが、本年度コンクールが昨年十一月十五日に行はれ、幸ひにも本紙「三月号」が町村の部三位に入賞する事ができましたのでお知らせいたします。

〃お母さんたちと娘さんたちの話し合い〃

去る12月11日東陽小講堂で婦人会と青年団が、嫁と姑、結婚問題等を中心に話し合いの会が開かれたが、主な意見は次のようなことだった。

いろいろのことが進歩していくのに、なぜ嫁と姑の問題はこうも改善されないのだろうか？　嫁と姑、そこには個々の考えではお互いに言い表わせない、やり切れないほどの苦労をもって過している人が多いのです。

「話」し合ってお互いに立場を理解することだと簡単にきれいな言葉ですべてをかたずけないで欲しいものです。

問題は、嫁の小遣いは最低五百円は必要でしょう。しかし少しでも出ればよい方であったり、年に二・三回の映画しか見られなかったりする、婦人たちに「理解し合う」ことを望んでも、はたして期待がもてるかどうかということでしょう。嫁の調度品に就て

一、先方と良く話し合って作る（むだを省く）

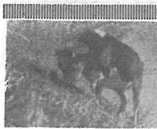
二、高級衣類をつくるなら電気器具を望む。

三、和服よりも洋服を希望する（生活の簡素化と同時に和服と比べて比較対照がわからないから）

結婚問題について

農村は恋愛に対する理解が少い。殊に男に恋愛を認め、女には認めない傾向がある。最近の女性は数理的観念が発達しているので、容姿とか家柄よりも、その者自身の生活力のある者を希望している。

（東陽公民館主事　伊藤秀雄　寄）



農事相談

施肥の合理化について

最近農作物は、殆んどが増収され特に稲の収量は著しく増加されて来た。これは農業技術の向上によるものですが、中でも肥料が大きな役割を果たしています。しかし昨年の稲作を反省して見ると、光町全体に、根ぐされによる秋落がかなり認められた。又、肥料の使い方も、相当むだがあったようである。本年の稲作は肥料を上手に使って増収したいものです。それには次の事項を知っておく事です。

一　無硫酸根肥料を使う

根ぐされのする田圃に硫安過石や、硫安、過石を原料として作られる化成肥料（市販されている化成肥料の約八割）等の硫酸を含んでいる肥料を使うと一層根ぐされを起し秋落ちしやすいので、硫酸を含んでいない肥料を使うようにする。硫酸を含んでいない肥料を無硫酸根肥料といいますが、単肥の中では、塩安、尿素、石灰窒素、熔燐、塩加等があります。但し石灰窒素は(ﾁ、品不足と工業用に大部分が使はれるため肥料用として販売されるものは割高ですので尿素や塩安に切りかえ使わないようにする又化成肥料では、塩安、尿素を原料にして作られたものを使うとよい。例をあげると、塩加燐安、燐加苦土安、尿素燐安加里（F54）等があります。これは高度化成といわれる肥料で肥料成分が高く、一般の化成肥料より値段が、割安です。又、きき方は早くからおそくまできく特徴を持っていますので非常に使いやすい肥料です。

二　根つけ肥追肥には単肥を使う

根つけ肥や、追肥は早くきく肥料がよいので、硫酸を含んでいても、硫安や、過石を少量使うと稲の生育がよくなる。

三　肥料設計をたてる

土壌調査や、農家の慣行法を調査し、それをもとに肥料設計をたて、むだのないように肥料を使う。

四　肥料は農協より購入

来年の春肥は、一般に値上りが予想されるので、早めに農協に予約注文し共同計算で購入し、少しでも安くする。

（光農業改良普及所）

＝有線放送＝

上手なかけ方

新らしく加入された方へ

「ただ今から電話をおうけいたします。どうぞ」交換手の声が終るや否や、サット送受話器を取り上げる。「モシ／＼、モシ／＼」じれったいね。何してやがるんだろう、ジッーと耳をすませてみる。だが、誰れの話声もきこえない。こんな経験は誰方でも味わったことでしょう。こんな時、交換台を覗いてみましょう。黄色いランプがいっぱいついて、交換嬢は全く眼の廻る忙しさです。応答、呼出し接続、通話記録、普通電話のベル……〃人殺し〃と叫びたくなるような忙しさです。「こちらは十八番、宮内の〇番ねがいます」必ず自分の番号と相手の番号をハッキリ言ってください。「何処の誰へ」では迷惑です。調べてかけて上げるだけの親切がかえって多くの人を待たせることになります。

さて、次に「緊急通話」のお話。深夜、夜明け、非常ブザーの叫び〃スワ緊急、火事か、泥ぼうか、急病人か……非常事態の発生か〃と飛び起きてみれば何のこと、酔ょた挙句の怒鳴り声、いたずらだけは止めてください。緊急事態の発生に全神経を集中してる宿直員です。焦らず「いつ、何処で、何が起きたか」ハッキリと伝えてください。

緊急通話が行われてる間、同一回線の受話器は上げないでください。感度が落ちて聞こえにくくなりますから。

お話しは、要領よくかんたんに。無駄話しは止めましょう。

迎春の辞

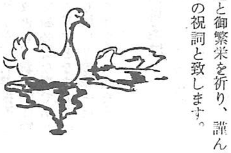
広報編集委員長　鈴木実

謹んで昭和三十六年の新春を迎えるにあたり町民各位の御発展と併せて御多幸を御祈り申し上げます。

当光町も誕生以来満七ケ年その間各種の建設的事業も歳を重ねる毎に増加し町民各位の健康保持の病院の増設、小、中学校の改新築、町営住宅八十戸完成、と場の増改築、有線放送の完成、中学校の統合等地方自治団体として町造りに全力を注いでまいりましたが、今後の実施事業として新町建設、五ケ年計画に基いての各種事業達成と新農山漁村振興事業等の各種重大事業を逐次達成すべく努力致したいと存じます。これには町議会を中心として町内指導者皆さんと町民の御協力と、御支援を賜らねばならないと考えますのでよろしく御願致します

光広報も編集委員一同の時間外勤務を行い熱と力によりまして刊を重ねる事、第十七刊役場内の出来ごと計画、町内の出来ごと、町民の声等町内全般に報道して知って戴きましたが有線放送の完成により町内の、出来ごとを速報出来ますので発刊数も少なくなりましたが、今回光広報も千葉県広報コンクールに入賞する程の成績を得ました。今後は町民の声を重点として広報活動の役割を果したいと、考えますので町内読者の方々と編集員の創意と工夫により益々使命達成を計り一層意味ある広報と致したいと存じますので町内有志の御支援を賜りたく、編集委員長として御願申し上げます。

尚町民各位の幸多き本年の躍進と御繁栄を祈り、謹んで新年の祝詞と致します。



自動耕うん機の届出について

光町には十一月末現在で、一八二台の耕うん機があり農家九戸に一台の割で所有されております。実際はもっとあるのでは無いでしょうか。耕うん機の所有者には軽自動車税が年間に千円課税されることは皆さん御承知と思いますが……

又、今年も確定申告の時期が近づいてまいりました。耕うん機は農業所得から必要経費として特別の控除が認められています。

なお、法によって陸上を運行するものにあっては陸運事務所に登録してナンバーを付けてからでないと運行してはならないことになっておりますので、御注意下さい。

（注・農業所得額は県町民税国民健康保険税の算定資料にもなりますのでもれなく登録してください）

巻頭写真入選者きまる

広報ひかり第十六号紙上にて新年号を巻頭写真を募集いたしましたところ、多数の応募がありました。編集委員会にて厳選の結果〃つくもの朝〃を巻頭写真として採用いたすことに決定し、次の方々が佳作入選と決定いたしました。このことについて御協力下さいました方々に対し厚く御礼申上げます。

一、富士の夜明け　母子　中岡延吉氏

一、湖のほとり　篠原　小川喜市氏

よい子の作品

たきび

二年　向後輝雄

ぼくは、たきびをした。
すぎっぱを、うんともって
きた。
いもをいれた。
からだが、あつくなった。
いものにおいがしたので、
とってみると、こげていた。
またいもをいれた。
ひがきえそうになったので、
また、すぎっぱをいれた。
ぼんぼんもえた。
いものにおいがしたので、
とってみると、また、こげ
ていた
ぼくは、にくらしくなった。

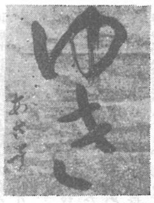
「白浜小学校」

朝

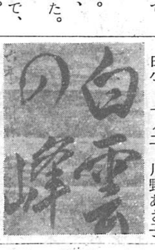
五年　椎名照代

霜でまっしろな朝。
顔を洗う。
「おお冷たい」
思わず弟を見る
お湯で洗っている。
「ずるい、ずるい」
とそばへいく。
「ねえちゃんが
しょないよう」とさわぐ。
母が
「またはじまった」と
しかる。
母のはく息もまっ白だ。

「白浜小学校」



白小　一ノ二　川野あさ子



白小　六ノ二　川野繁子

里の伝説

背中に蹄跡の残る薬師如来像

幾多の伝説を背負う薬師如来像

古屋にある金色山薬王院福秀寺にまつわる伝説は数多い。ここに安置される木彫寄木作り薬師如来像は昭和二十九年三月千葉県重要文化財に指定され、その仏教美術としての価値は一躍斯界の脚光をあびるに到った。往時は薬王院の建物も相当広大なものであったようだ。今に残る小字に薬師堂前、垢離取場なども薬王院に係るもののようで、薬師堂前は古屋沼の南部で、現薬王院からの距離は1Kmもあり、垢離取場まで100m、これからの想像しても如何に薬王院の境内が大きかったかがしのばれる。この寺および本尊薬師如来の縁起について、古写本の一部に「略縁起」として「御願当時瑠璃光如来者御長六尺（五尺）三寸立像行基菩薩御作也。倩本尊薬師如来出現尋濫觴人王八十四代順徳天王御守鎌倉三代将軍（中略）実朝公為武将時在逝世沙門栄浄（鎌倉寿福寺開山栄西禅宗弘結縁弟子也）雖無怠（中略）とあり、順徳天皇といえば七、八百年前とは推定できよう。

ここの本尊薬師如来には次のような伝説がある。

鎌倉時代或武将が鎌倉をおわれて逃れて来た際、古屋地先の或小流れにかかる土橋を渡ろうとしたところ、乗馬がその橋に一橋踏みかけたまま後すさりをして、どんなに鞭打っても渡ろうとしない、不思議に思って土橋を調べるとその土の中から一軀の仏像が表われて馬の踏みつけた蹄の跡がまざ／＼と脊中に残っていた。武将は仏像を一見してその尊厳さにうたれ、里人にすすめて一宇を建立せしめ、この像を本尊仏として安置した。また、附近の沼池に銭の生る芦の伝説がある。これは、広い境内の裏手に多額の財宝を秘蔵する一人の穢多が住んでいた。この穢多が里の美しい乙女に恋をして、千両箱を積んで妻に迎えたいと申込んだが娘の親は千両、万両積まれても穢多に娘は嫁せられぬと断った。穢多は世を果なんで財宝を川へ投げ捨て、何所ともなく立ち去って行った。今に栗山川畔には、「穴開き文銭」のさされた芦の新芽が生い出るという。

朽ちゆく福秀寺金堂

巷の声

深田町政に望む

町長さんの自動車事故による入院は、三十六年度の予算編成をひかえてきわめて大切な時期だけに、ほんとうに残念なことだ。

勿論賢明な町長さんであるゆえ明確な施政方針のもとに、具体的な予算措置が講じられると思うが、こうしたときこそ、助役さんや課長さんたちが真に町長さんの補佐役となって深田町政の立派な推進を図ってもらわなくてはならない。

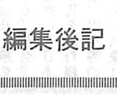
国の政治にしても、市町村の政治にしても、施政方針に基いての予算編成が行はれるわけで、若し何んらの考え方もなく予算が組まれるとするなら、亦ゆき当たりばったり主義を以って予算が小出しされるとするなら、いきおい強いものが予算を多くとってしまい、かって一声十万円だというそしりを受けた議会の雰囲気が再びかもし出されて町議会は大混乱ともなろう。

町民たちの願っていることは、健全財政の町作りであって、タコが自らの足を食べてしまうような予算の分取りを考えたり、乞食ぼう根性を起して補助金の水増し申請をするような事は、もう誰でも考えていない筈だ。

そして町長さんの町民的な立場に立っての予算編成を願い、あまねく町の政治の恩恵を与えて貰う事を望んでいる。

このためみんなの力で出来上った深田町政を支持し、或は批判しつつ、よい町を作らうと思っているので、町長さんの療養中のペットを中心にして町の政治が円満に前進するよう望んでやまない。

（やしま　まもる）



編集後記

今年はうしの年、うしの歩みのよし遅くとも怠らず行かば千里の外も見ん、と云はれます。

ひかり編集部員の歩みは遅く、改良進歩も遅々たるものですが本年も大いに頑張るつもりです。

一万二千の町民の方々が広報を通じて町政の全般を知り、また町政に対する御批判御意見等を本年こそ遠慮なくどし／＼出して戴く事を希望いたします。

知らず行えば遠い昔の事充分に知り尽してこそ真の協力態勢ができ、明朗な町作りの発展を期待できるわけです。

その意味に広報を大いに御利用願えればと存じます。